

【政治】

オバマ政権がTPP断念 日本、急ぐ理由失う

2016年11月13日 朝刊

オバマ米政権は環太平洋連携協定(TPP)の議会承認取得を断念した。ホワイトハウス高官が十一日、表明した。来年一月に就任するトランプ次期大統領はTPPからの脱退を明言しており、現状での協定発効は絶望的になった。安倍政権が、参院で審議中のTPP承認案と関連法案の採決を急ぐ理由はなくなった。

アデエモ米大統領副補佐官(国家安全保障・経済担当)は電話記者会見で、TPPの取り扱いは「議会と次期大統領が協議することになる」と述べた。同席したローズ副補佐官も「国内の政治情勢は理解している」と議会承認は難しいとの考えをにじませた。

オバマ大統領はTPPを政治的遺産(レガシー)にしたい考えだったが、米上院の過半数を制した共和党の重鎮が来年一月までの議会で承認する可能性を否定。オバマ氏は在任中の承認を諦めざるを得なくなった。トランプ氏が翻意しなければ、現在の協定が発効する可能性はなくなる。

TPPの発効は参加十二カ国で経済規模が一、二位の日米両国の批准が必要条件になっている。

一方、安倍政権は十日に承認案を衆院通過させた。オバマ氏の在任中に米議会がTPPを承認するわずかな可能性を後押しする狙いだったが、思惑が外れた。安倍晋三首相は今国会での承認を目指す方針を崩さず、トランプ氏の説得に乗り出すとみられる。

これに関し、民進党の蓮舫代表は十二日、青森市内で記者団に「なぜ、こんなに急ぐのか。誰のために国会を動かして審議するのか」と批判した。(城島建治、ワシントン・石川智規)

今後の主な日程	2016年 11月17日	トランプ氏と安倍晋三首相が米ニューヨークで会談
	19、20日	ペルー・リマでアジア太平洋経済協力会議(APEC)首脳会議
	12月16日	米議会の年内最終日(1月2日まで延長可能)
	17年 1月20日	トランプ氏が大統領に就任

関連記事ピックアップ

Recommended by

- TPP参加国は静観 承認手続き急ぐ日本 参院審議入り(11月12日)
- 日米同盟強化を重視、中国に対抗 日本への関与拡大要請か(11月12日)
- トランプ氏安保顧問「日本、積極的役割を」 中国の影響拡大念頭(11月12日)
- 初心者大歓迎！12月4日(日)東京自遊大学資産運用学科 【参加無料】
- トランプ氏、オバマ大統領と会談 新政権へ始動(11月11日)
- 「グレーゾーン」初訓練 警察、海保、自衛隊の3機関連携(11月13日)

女性の薄毛は男性以上に解決できる！
SNSシェア4万超えの女性用育毛剤がすご
すぎ！

PR(Happiness Woman)

「青い髭キモい！」これが女性の本音です
♪1週間でツルスベ肌になる方法

PR(Men's Life)